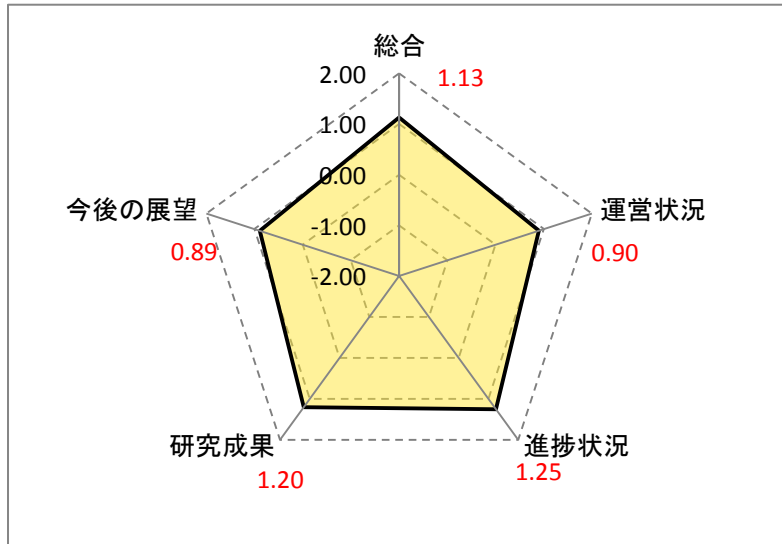


戦略的研究推進センター平成27年度研究プロジェクト評価

研究プロジェクト：萌芽研究部門 島根県内に生息する微生物資源の保存と利用

	総合	運営状況	進捗状況	研究成果	今後の展望	得点の平均
得点	1.13	0.90	1.25	1.20	0.89	1.07
評価	B+	B-	B+	B+	B-	B+



(評価コメント)

【総合評価からのコメント】

- ・当初の計画、目標に向けて着々と研究を展開しており、様々な興味深い結果を得ている。ただ、島根県内に生息する微生物資源のまだほんの一部しか把握できていないと考えられるので、今後の展開、発展を期待する。
- ・研究成果がそのまま地域貢献になるため、今後のさらなる発展を期待する。
- 全体として、地域への情報発信や教育的な取り組みについても積極的にを行うことを期待する。
- ・発表論文、外部資金獲得等、全体として物足りなく感じられる。自己評価について基準に従った評価の記載がないなど、報告書の記載について不備がある。以上より、総合的に判断して評価をCとする。
- ・県内の植物や土壌から微生物を分離・保存する微生物ライブラリーの構築は、大きな研究成果だと思われる。応用化・実用化に向けてのプロジェクト研究へ発展することを期待する。
- ・基礎応用両面から本学の貢献が重要なプロジェクトであり、各テーマ順調に成果をあげている。
- ・島根大学全体の研究としては、地域貢献などのアピールが不足しているため、これからの発展が期待される。
- ・4名の組織である。論文掲載の計7件は、一人当たり1.75件と堅実と判断される。産学連携・地域連携はクロマツ葉枯性病害や炭化などの話題で地域貢献を行っている。科研費1件を含む外部資金7件は一人当たり60万円で堅実と思われる。今後の展望については、島根県内に生息する微生物資源の他県に対する優位性とその経済的価値などを検討していく必要が感じられた。
- ・本研究は将来に向けてのデータの蓄積と継続性が大切だと思われる。

【各評価項目からのコメント】

- ・他機関との連携や組織内の運営が効率的に行われ、活発な研究活動につながっていることは評価できる。
- ・計画に沿って研究を進められたようです。論文も掲載され、実用化に向けた共同研究も進められており、本萌芽プロジェクト研究としての目標が十分に達成できたものと思われます。今後、一層研究が進展し、学術的成果のみならず実用化の面でも成果を上げられ、大型外部資金の獲得や地域貢献に繋がることを期待します。
- ・当初計画どおり研究が進められ、大きな4つの柱ともに成果があげられたと思います。実用化にむけた今後の展開を期待いたします。
- ・学術論文数、外部資金とも前年度に比べ増加していることは評価に値する。
- ・この研究プロジェクトにより県内の土壌から多くの微生物が分離・保存され、島根大学が保有する微生物ライブラリーが構築されている。今後、農業を中心とした共同研究等を通じて食糧問題解決などに繋がる成果が期待される。
- ・微生物ライブラリーの構築と防除に活用できる系統を複数分離できたことは評価できる。
- ・機関委託など、ライブラリーの保存方法も検討し、貴重な系統の利活用に万全を期して欲しい。